

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成20年1月31日（木）

第30回（第5期第4回）江東内部河川流域連絡会を開催



隅田川の案内板（表示面）



隅田川テラスギャラリー

- ・「第30回（第5期第4回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から約2時間30分で江戸川区小松区民館2階、集会室第一において会議を実施しました。
- ・都民委員11名と墨田区、江東区、江戸川区、東京都江東治水事務所等の行政委員11名等が参加しました。
- ・水災フォーラム開催に関連して災害に関する事項、案内板、護岸のペイントについて、意見交換を行いました。

行政委員からの報告・情報提供

東京水災フォーラム 2007 に関連して

- ・「東京水災フォーラム 2007」が平成 19 年 12 月 19 日、墨田区にて開催され、内容について簡単に事務局から報告する。

[あいさつ：松島みどり国土交通副大臣]

- ・国際的に見ても 21 世紀は水の世紀である。
- ・かつて洪水氾濫で悩んだ首都東京を守るために作られたのが荒川放水路である。(以下、荒川と表記) この工事の陣頭指揮をとった青山士氏の展示が荒川知水資料館にあるので、一度訪ねて欲しい。また、荒川が水害から私たちを守る大事な施設であることを今日のパネルディスカッションで考えて欲しい。



[行政からの報告 「平成 19 年台風 9 号の概要について」：岩田美幸荒川下流河川事務所長]

- ・平成 19 年の台風 9 号は 6 年ぶりに岩淵水門を閉めて、洪水を荒川に流して隅田川の水位を下げたという台風だった。しかし、河川敷に生活するホームレスを避難させ、あるいは、逃げ遅れた人を助け出すまではなかなか、岩淵水門を閉めて水位が上げられないため、たいへんだった。また、台風後のゴミ処理に 1000 万円かかった。
- ・今回の教訓を生かしてさらにより河川行政を続けたい。

[基調報告 「近年多発する都市型洪水と大規模洪水について」：宮村忠関東学院大学工学部教授]

- ・明治 43 年、隅田川の氾濫による大水害を契機に荒川がつくられた。荒川は隅田川のバイパスとしての役割のほかに、利根川の洪水を受け止める役割も持っている。
- ・ハリケーン・カトリーナによる堤防決壊で被害を受けたニューオリンズは、ゼロメートル地帯ということでは、江東デルタ地帯と一緒である。しかし、ニューオリンズは大被害を受けた後、大暴動が起こったり、社会不安が広がっていった。水害の時、住民同士の固い絆をどうつなぎ、伸ばしていくかが非常に大切であり、これがニューオリオンズの教訓である。

[パネルディスカッション]

- ・宮村忠氏：洪水時に堤防から水が浸みだした時に手当をする人の確保や、水防組合への若い人の加入と訓練といったソフト面の対策、そして、災害に備えて人と人の絆を深める努力が必要である。
- ・五月みどり氏：避難所に仕切りをつくるなどもう少し気配りが必要だということと、わかりやすく情報を提供することが大切だ。
- ・山崎昇氏（墨田区長）：各家で雨水をバケツに溜めると小さなダムとなるといった時間差の排水が有効だ。また、大雨の時にシャワーを控えるなど、皆が水害からまちを守っていかなければならない。
- ・岩田美幸氏（荒川下流河川事務所長）：カトリーナの堤防決壊は 20 億ドルの投資を怠り、1,250 億ドルの被害となった。予防的な投資が必要であり、あわせて情報提供を含めたソフト対策にも努力したい。

＜都民委員からの意見等＞

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆大震災等による大火災及び堤防決壊による大洪水等起きた場合の避難場所を知りたい。
- ◆災害対応自販機というものがある。災害時対応の自販機の設置について、調べてほしい。

川沿いのトイレとトイレへの案内について

- ・水辺を散策していてトイレが近くにないか、また、近くのトイレまで誘導されているかどうかということで意見を頂いたので、現地を歩いて調べた。
- ・旧中川は東京都で「川を歩こう」というイベントを行っている。改めて調べると、児童公園内や沿川の公共施設内にトイレがあり、案内板も一部設置されている。
- ・小名木川は将来散策できる距離が伸びるため、トイレの位置を調べておいた。沿川 100m の範囲に 31 箇所のトイレがある。計算すると平均 150m に 1 箇所あることとなる。
- ・トイレの位置が掲載されている案内板と掲載されていないものがある。案内板にトイレの位置が、掲載されていれば、散策などで便利である。



旧中川のトイレの位置図

公共施設の案内情報板について

【隅田川案内情報板】

- ・隅田川の案内情報板は、平成 16・17 年度で、永代橋から下流に約 35 基設置した。今後 3 年程度で白鬚橋まで整備することを目標にしている。

これまでの整備の課題

- ①掲載情報の表現・内容の課題
- ②メンテナンスに関する課題
- ③既存サインとの関連に関する課題

平成 18 年度以降の整備方針

- ・サインの種類毎にその目的（位置づけ）を明確にし、適切な設置位置、情報の体系化を図ることとした。



テラス入口サイン：テラス内及び周辺を案内している。トイレサインも記入。



テラス内サイン：川を見ながら、地図を確認できるよう、傾斜を付けた。

【江戸川区の事例】

- 江戸川区では旧中川沿いの「健康の道」に、次の2種類の看板を設置している。
 - ①健康の道サイン：健康な歩き方や周辺の地理情報等を記載。2基設置。
 - ②施設誘導サイン：手洗所等の施設への誘導表示。6基設置。
- その他、旧中川では、逆井橋付近にかつてあった渡し舟の説明看板を設置している。



小看板

護岸のペインティング

- 護岸のペインティングについては、事務局で調査した結果を報告する。
- 東京都では、護岸のペインティングについて、考え方や手続きなどをまとめている。また、渋谷区では、渋谷川でのペインティングについて申請が出され、具体的な対応基準を作っている。
- ペインティングは、屋外広告物に該当する。東京都屋外広告物条例では、護岸は、屋外広告物の設置対象場所ではないので、「護岸のペインティング」については、この条例に基づく適用除外の審査が必要になる。
- 道路を使用する場合や道路交通安全上の視点から目立つものは、交通管理者や道路管理者と事前協議を行う必要が生じる。
- ペインティングを掲示する期間は、永続的ではない。また、費用は現状回復を含め、申請者の負担となる。
- 承認の条件として、近隣の住民から苦情が出た場合には実施者の責任で処理する、安全は必ず確保する、景観上の配慮が求められる施設であるので、その旨十分留意して行う、護岸の川側では、治水が優先する等である。

	東京都の護岸のペインティングの考え方について	渋谷川護岸のペインティングについて（事例）
趣旨・目的	青少年の健全な育成と、地域の環境美化の向上を図る	良好な景観を創出
申請者	国、地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> ・町会、自治会等の地域団体 ・上記団体と連携し、区の美化活動に協力している非営利団体
許可期間	2年未満（保全状況が良好な場合は1回限り更新可能）	原則として3ヶ月。区・団体のいずれからでも消去の意思表示がなされない時は3ヶ月延伸可。以後この例による。
終了後の措置	現状復旧	現状復旧
費用負担	製作・消去に必要な費用は申請者負担。	

（区でおこなわれた事例）

- 墨田区では、大横川親水公園に残った旧護岸を使い、護岸に装飾した事例がある。
- 江東区では、仙台堀川親水公園等に残った旧護岸を使い、区民参加を得て、護岸に絵を描く護岸ギャラリー事業を10年間実施した。（目的を達したので、平成5年で終了）

<都民委員からの意見等>

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆護岸ペインティングの一つの役割として、その箇所のある昔の川の状況を知らせることもある。昔、水害でこうだったとか、昔の風景を知らせる写真や絵があると、防災対策にもなり、有効だと思う。
- ◇工事の際に昔の水害や風景、工事の概要等を示した看板を設置したことがあるが、防災面からも、貴重な意見だと思う。
- ◆ペインティングについては、張り替えという方法があるというアイデアをもらった。その際のシートの製作費用について教えてほしい。
- ◇隅田川ギャラリーのシートの製作費用は、次回報告したい。

都民委員からの情報提供

川沿いの公衆便所について

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆川沿いをウォーキングした際、震災対応型トイレという表示を見た。また、下水道管理事務所の前に下水道管耐震化表示板があった。公共のトイレは耐震補強等して、震災時にも利用できるのか。



- ◇耐震対応型トイレは、震災時、水の供給が止まった場合でも使えるように対策を施したトイレである。具体的には、震災時に便器を壊すと便器の下に空洞があり、くみ取り型のトイレとなる仕組みである。下水道等の復旧まで使用できるよう考えている。墨田区では、134箇所の公衆トイレの内、現在17箇所が震災対応型となっており、今後も広域避難場所に指定されている公園や学校周辺にある公園の公衆トイレは改築する計画である。
- ◇下水道のマンホールも災害時にはそのフタを開けて周りに囲いをつくって、そこで用を足せるようなトイレを江東区、江戸川区、墨田区も避難所の倉庫に用意している。

意見交換

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆旧中川の江東新橋から木下川水門までの区間の整備はいつまでに終わるのか。地域の人々は上流側が整備されたことをうらやましがめる声もある。また、整備計画を議題に取り上げて欲しい。
- ◇平成22年度を完成目標にしている。
- ◆江東内部河川のかさ上げ護岸は歴史を知るためにもそのまま残してはどうか。
- ◇隅田川の白鬚橋上流のスーパー堤防区間には一部残っている。そのようなことができないか検討する。



流域連絡会の今後の予定

次回の流域連絡会は、5月末に予定しています。今回はアンケート調査の結果を受けまして、現地見学をする予定です。案としては、小名木川と横十間川の合流点・クローバー橋から横十間川木製遊歩道を経由して、北十間川・新タワー建設現場付近までのルートを考えています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	梅原 博明
		墨田区	二木 ^{ふたき} 祥一
		墨田区 (区内在勤)	正岡 久武
		江東区	菊地 進一
		江東区	黒木 正幸
		江東区	氷見 ^{ひみ} 修三
		江東区	吉田 正子
		江戸川区	山内 久二
	団 体	江東区 江東区和船友の会	松島 信治郎
		江東区 江東区和船友の会	三好 寿雄
江戸川区 旧中川灯籠流し実行委員会		江頭 正恭	
江戸川区 小松川平井地区連合町会		谷川 貞夫	
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区都市計画部都市整備担当道路公園課長	渡辺 茂男	
	江東区土木部水辺と緑の課長	荒木 猛男	
	江戸川区土木部計画課長	立原 直正	
	東京都環境局自然環境部水環境課長	池田 茂	
	東京都下水道局建設部土木設計課長	猪八重 勇	
	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	安藤 哲男	
	財団法人 東京都公園協会水辺事業課長	植村 敦子	
	東京都建設局河川部副参事 (河川管理制度担当)	小谷 健	
	東京都建設局河川部副参事 (総合治水・低地河川防災計画担当)	野村 隆	
	東京都建設局第五建設事務所管理課長	勝見 恭子	
東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	小林 一浩◎		
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	土屋 彰夫		

◎ 座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：吉岡、清水

TEL：03-3692-4945 (直通) FAX 03-3696-6499

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp